

平成28年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館 の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 地域教育課

評価対象：平成28年4月1日～平成29年3月31日

評価委員会開催日：平成29年9月13日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
施設概要	収容713名の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために35年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点としてまた地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	42,400千円（平成28年度）

2 管理運営の内容

項 目	28年度の状況
運営状況	<p>○平等利用の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のために自主的に受付時間を21時30分まで延長した。 ・市民ホール使用状況及び公民館空室状況を市民が閲覧できる場所に設置しただれでも気軽に空室が確認できるようにした。 <p>○自主事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の映画鑑賞会を行い、メイン客層に受ける映画を選定し、市内で良質な映画を鑑賞ができる機会を提供した。映画の予告をロビーのモニターにて再生し、利用者の増加を図った。 ・親子で楽しむコンサートや展示ホール開放デーといった、保育つき事業や乳幼児も参加できる事業を実施し、親子のふれあいを促進した。 ・イクメン写真展やパープル&オレンジリボン啓発事業を実施し、男女共同参画、暴力防止・児童虐待防止の精神を市民に伝えた。 ・市教育委員会主催の「市民文化祭」「夏休みキッズランド」に協力して模擬店出店や自主事業の企画運営をしたのを始め、様々な市の事業について人的・物的に支援をし、もって市の文化振興の促進に協力した。 ・コンサート中に地震が起きたことを想定する「避難訓練コンサート」など、新たなチャレンジの自主事業を複数企画・実行した。また、ホール事業以外に玄関前広場やホワイエ等、色々な場所を活用した事業を展開し、新たな総合センターの可能性を模索した。 <p>○施設の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理が設置したホームページにて公民館及び市民ホールの空き状況や、自主事業についてきめ細かに掲載している。 ・ホワイエ前に特設のチラシラックを設置し、現在どのような事業が行われているか一目でわかるように掲示を工夫した。 <p>○安全確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の防犯・防災訓練に加え避難訓練コンサートを新たに実施し防災への意識啓発に努めた。

維持管理状況	<p>○保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施した。 ・補修、修繕が必要な箇所が発生した場合、専任の技術者が頻繁に対応し、適切かつ安価な修繕を心がけた。 ・年間整備計画を策定し保守点検を実施している。不具合箇所の調査を行い、修繕計画を短期・長期ともに担当課に提出して、都度協議した。 <p>○清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃のみならず館内巡回でも良好な状態を保つよう意識した。 <p>○警備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日7回定期館内巡回を行うほか、防犯マニュアルに従って職員に防犯の意識付けを行った。また、不審者対応の観点から男性を1名配置した。 <p>○環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明機器等のLED化を促進し、展示ホール及び避難誘導灯を全てLED機器に入れ替えて効率化を図った。 ・空調機器についても、社内の専門家によるホール空調の効率化を引き続き実施し、また緑のカーテン設置により良好な環境作りを図った。
利用状況	<p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は13件増加し121件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は53件、市関連の事業は68件であり、貸施設利用が13件の純増となった。また市外居住者の利用は昨年より1件少なく、2件となった。</p> <p>利用者数は34,417人で、昨年より1,761人増加している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日・日曜日の利用割合は59.8%であり、土日の利用は全体の過半数を占めた。全体の利用率は31.1%にとどまった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前・午後・夜間のそれぞれを1枠とすると前年より158枠減少し、5,139枠の利用があった。また利用者数は、76,493人で、前年度より6,448人減少している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：73.1% 視聴覚室：58.6% 音楽室：55.2% 実習室：38.7% 料理室：20.8% 相談室：17.2%等でギャラリー一室を除き全体では41.3%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支報告書では、収入が56,843,018円、支出が53,064,311円で決算額は3,778,707円の黒字決算となった。うち200万円は市主導で電力会社を変更した成果であるため平成29年度に市に返還する。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	28年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者 調査期間：平成29年2月8日から平成29年3月8日 調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、その場で記入の上、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。 回答件数：110件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が80.9% 職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が93.6%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、ネット、FAXでの予約ができれば良い。 ・和室の畳がささくれて衣類に付いて困ります。健康畳に変えて欲しい。 ・展示ホールに鏡を付けてほしい。 ・コピーや図面の拡大をしていただいで大助かり感謝しています。 ・インターネット使用出来るようにしてほしい。 ・トイレの臭いが気になる。洋式も増やして欲しい。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特に施設維持管理等のハード面は評価でき、ソフト面は若干不足な点も見られるが、公民館事業との兼ね合いもあるため、評価を下げるものではない。</p> <p>施設の維持管理においては、非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容を見極め、良好な修繕を行っている点は評価できる。財政措置が必要な補修についても修繕計画を担当部局に提出し協議することで、効率的な修繕に繋げている。空調設備効率化や照明のLED化により省エネ化及び環境負荷の低減を実現している点も評価できる。</p> <p>また、窓口の受付時間延長やHPへの迅速な情報提供等、利用者が利用しやすい施設にしようとする意欲も見られる。</p> <p>自主事業については、市内各種団体との共催事業として積極的に新たな取り組みを行ない市民の文化活動の振興に尽力している。また市民ホールを利用した新たな事業を展開している点が評価できる。</p> <p>一方で、高齢化による定期利用サークルの減少が原因と思われるが、公民館利用件数が減少しており、今後の対策に期待する。</p> <p>予算収支では、今年度は3,778,707円の黒字となっている。黒字の主原因は光熱水費、特に電気代の削減に起因するものであり、利用者の負担にならない形で収支改善が実現できている。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果